

平成 29 年度 大阪府立河南高等学校 第 1 回学校協議会 報告

〔 日 時 平成 29 年 5 月 24 日 (水) 15:00～
場 所 本校校長室 〕

1 校長挨拶

2 協議会委員、事務局教職員の紹介 協議会委員

吉川 測雄 (杉田学園副学園長・大阪学院大学講師)

島 善信 (大阪教育大学教職教育研究センター 特任教授)

谷口 省三 (富田林市立第二中学校 校長)

岡澤 潤次 (前 関西外国語大学 教授)

恵島 明 (株式会社「えじま」会長)

中桐 富子 (PTA 会長)

事務局教職員

仲内 一雄 (教頭) 寺田 由香 (事務長) 横山 博次 (首席) 東 文義 (首席)

3 協議会設置要項及び運営計画について

4 協議会会長の互選

今年度の会長に吉川測雄氏が選出されました。

5 議事

(1)現状報告と(2)質疑応答並びに学校への提言 (◎印：委員、○印：学校)

① 入学者の状況等 (倉原教務部長)

○平成 29 年度の志願者数は昨年度より増加した。ただ、大阪狭山市や堺市美原区からの志願者が減少した。この原因は、学区がなくなり、南海高野線沿線の学校に受験生が流れたものと推測される。松原市からの志願者が増えた。一番多いのは羽曳野市で、次が富田林市である。やはり地元では、根強い人気がある。

② 卒業生の進路状況等 (田中誠進路指導主事)

○国公立大の現役合格者は 6 名で、大阪教育大学に 2 名、和歌山大学に 2 名、大阪府立大に 2 名合格した。いずれも一般入試であった。浪人では、富山大学に 1 名、島根県立大学に 1 名合格した。

○68 期生は関西大学 84 名、近畿大学 116 名、69 期生は関西大学 56 名、近畿大学 97 名であった。データでは減少しているが、進学者で見ると 68 期生は関西大学 35 名、近畿大学 42 名の計 77 名、69 期生は関西大学 30 名、近畿大学 39 名の計 69 名で、大きな差異はないようである。看護医療系の大学への進学者は、68 期生 16 名に対し、69 期生は 27 名と増加している。69 期生の傾向としては、推薦入試より、一般入試まで頑張る者が多かった。センターテスト受験者は、171 名で 48.6%であった。

③ クラブ加入状況について (新鞍特活主担)

○クラブ加入率は 93.9%である。柔道部は部員数が 0 で、規定により廃部になる可能性が高い。体育大会は騒音、近隣施設への無断駐車問題のため、2 年間校外で実施していたが、今年は校内実施する。

④ 学校経営計画及び学校評価について (校長より)

○中期目標を 3 つから 4 つに分け、明確にした。特に不登校や支援を必要とする生徒のための教育相談体制を充実させる。英検の 1,2 年生の全員受験は継続する。

◎河南は地元の支持が強い。生徒の心のケア、カウンセリング体制の充実してください。また、6 月にスマホの講習会を実施するのは良いことである。スマホは使い方を誤ると恐ろしい。思いがけない犯罪に巻き込まれることがある。

6 校長謝辞